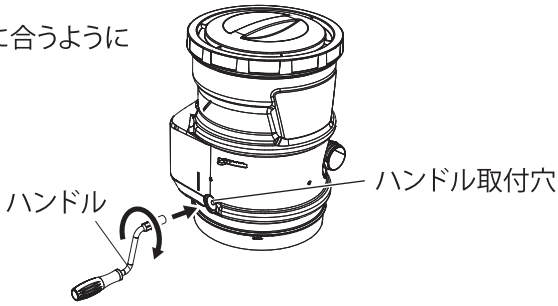


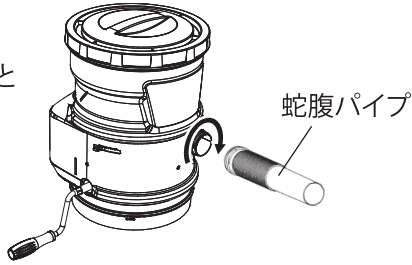
① ハンドルを取付ける

ハンドル取付穴の中にあるネジに合うように
ハンドルを回して取付けます。
(右ネジ・時計回り)



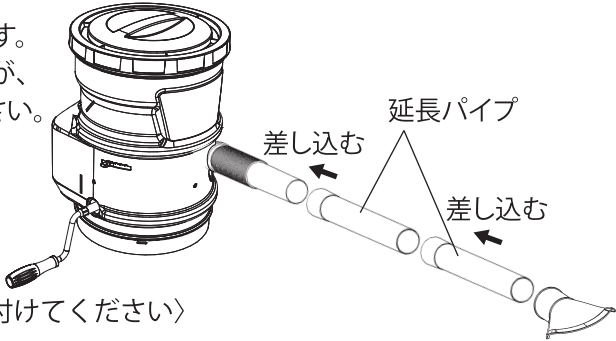
② 蛇腹パイプを取付ける

本体の吐出口に、蛇腹パイプを取付けます。
作業中にはずれたりしないように、しっかりと
ねじ込んでください。
(右ネジ・時計回り)



③ 延長パイプ・噴口を取付ける

蛇腹パイプの先に順次差し込みます。
延長パイプは 2 本付属していますが、
手の長さに合わせて調整してください。
先端に噴口をつけてください。
用途別で 3 種類付属されています。

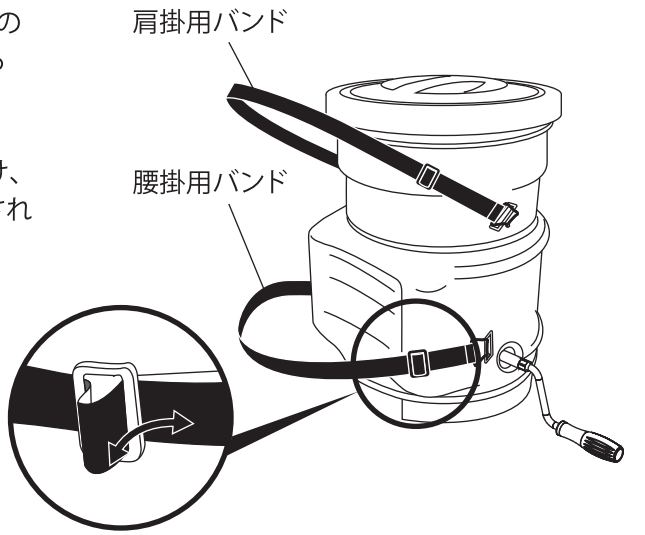


〈用途に合わせて噴口を選んで取付けてください〉

	多口噴口	Y 型噴口	平枝噴口
部品			
散布イメージ	 広い幅を散布する場合におすすめです。	 二股にわかれて薬剤が出ます。 うね間など真ん中に 散布しない場所におすすめです。	 一般的な畑の散布に 向いています。

④ バンドを取付け、調整する

- ①肩掛用バンド取付金具に
バンドを掛けた時に、本体の
高さが丁度良い高さになる
ように長さを調整します。
- ②同様に腰掛用バンドを掛け、
本体が体に密着して固定され
るように調整します。



〈バンドの調整〉



肩掛用バンド

肩掛用バンドでかかえる時の
本体の高さを調整します。

腰掛用バンド

腰掛用バンドで本体の
固定具合を調整します。

ハンドルを回しても
本体が大きくグラつかない
程度で、きつすぎないように
バンドを調整してください。

使い方

① 薬剤を入れる前に確認する

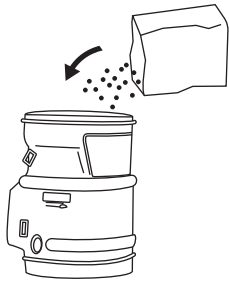
薬剤を入れる前にタンク内のゴミを
よく取り除き、薬剤もよく乾かしたものを
ご使用ください。



注意 薬剤が湿って固まってしまった
ものは使用しないでください。

② 薬剤を入れる

ご使用になる薬剤を入れ、
しっかりフタを閉めてください。

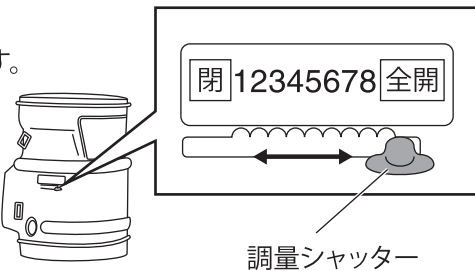


注意 薬剤を残さないよう
使いきる分のみ入れてください。

③ 散布量を調整する

〈調量シャッターの操作方法〉

閉～全開まで 8 段階に薬剤の量を調整できます。
使用する薬剤で調整してください。
通常の目安はシャッターを 3 の数字に合わせ、
ハンドル回転が 60～70 回転 / 分が適当です。
この場合、1 分間に約 150g 散布できます。



〈散布量の目安〉	目盛り	閉～3	4～6	7～全開
散布量目安 (重量)		0～150g	200～300g	350～400g

ハンドルを毎分 60～70 回の速さで回した時の目安量

④ 散布する

散布は右図のように、バンドで本体を体に固定して
蛇腹パイプを持ち、薬剤を散布したい方向に
噴口を向けながらハンドルを回してください。



注意 ハンドル回転時にはタンク内に
手を入れないでください。

注意 散布作業は風向きに十分注意
して行ってください。

使用後のお手入れ

- ・薬剤がタンク内に残ってしまった場合は、薬剤を元の袋が別の安全な容器に移してください。
- ・各部品 (フタ・ハンドル・パイプ) を取り外してよく掃除してください。
- ・本体は、水による洗浄は行わないでください、故障の原因になります。
湿ったタオル等で汚れなどを拭き取った場合は、本体をよく乾かしてから
保管してください。

